

2021年度・介護に関するアンケート結果

2021年11月7日に発行したタブロイド紙「介護への備え」にて告知し、WEB回答方式で実施した介護に関するアンケートの結果は以下の通りです。（有効回答者総数638人）

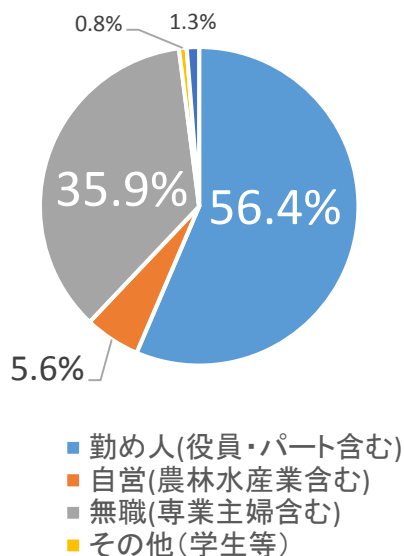
【回答者の属性】

性別	実数	構成比
男性	115	18.0%
女性	519	81.3%
回答しない	4	0.6%
計	638	100.0%

年代	実数	構成比
10代	1	0.2%
20代	9	1.4%
30代	23	3.6%
40代	75	11.8%
50代	223	35.0%
60代	186	29.2%
70代	109	17.1%
80代～	11	1.7%
回答しない	1	0.2%
計	638	100.0%

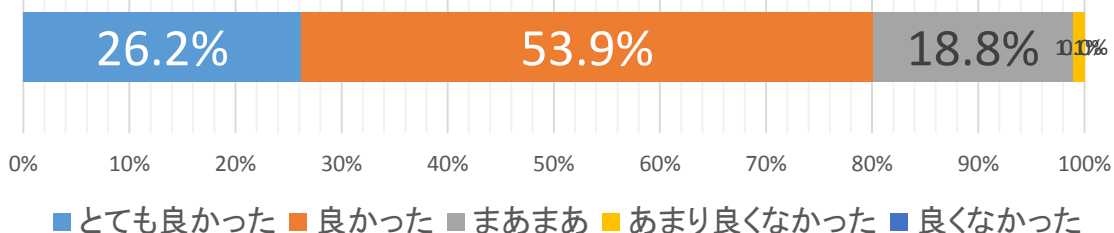
平均年齢：59.4歳

回答者の職業内訳



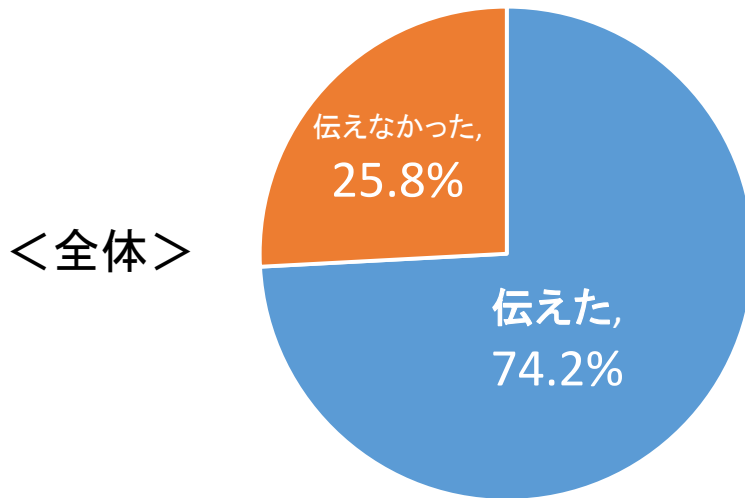
介護経験	勤め人 (役員・パート含む)		勤め人以外		全体	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
ある	209	58.1%	204	73.4%	413	64.7%
今後する見込み	120	33.3%	52	18.7%	172	27.0%
経験はなく今後もしない	31	8.6%	22	7.9%	53	8.3%
計	360	100.0%	278	100.0%	638	100.0%

【タブロイド紙「介護への備え」の評価】



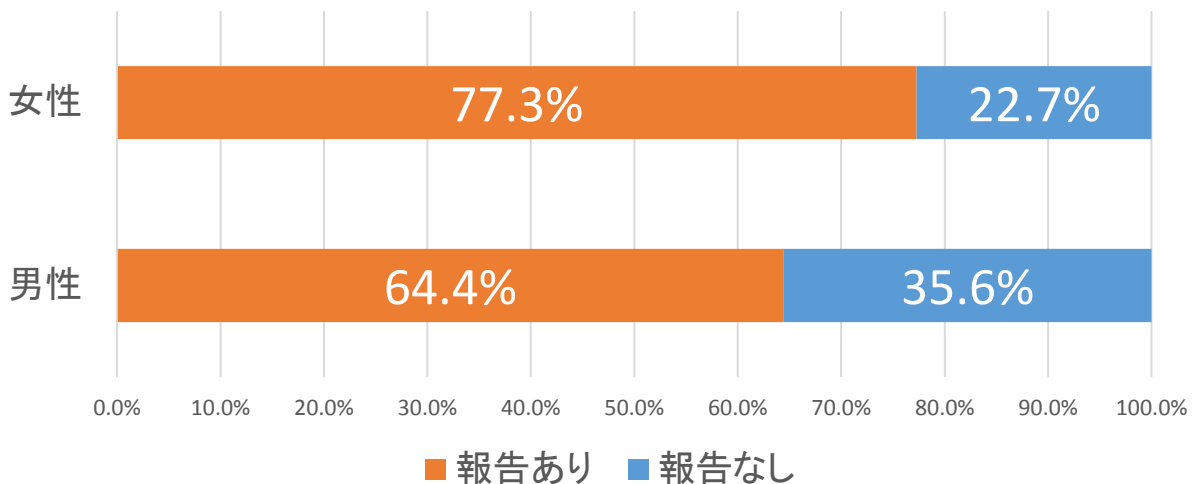
【介護事情に関する職場への報告状況】

介護を担っていることを職場に伝えましたか？



「勤め人」「介護経験あり」と回答した209人の内、自身の介護事情を伝えたのは、約4人に3人の割合であった。

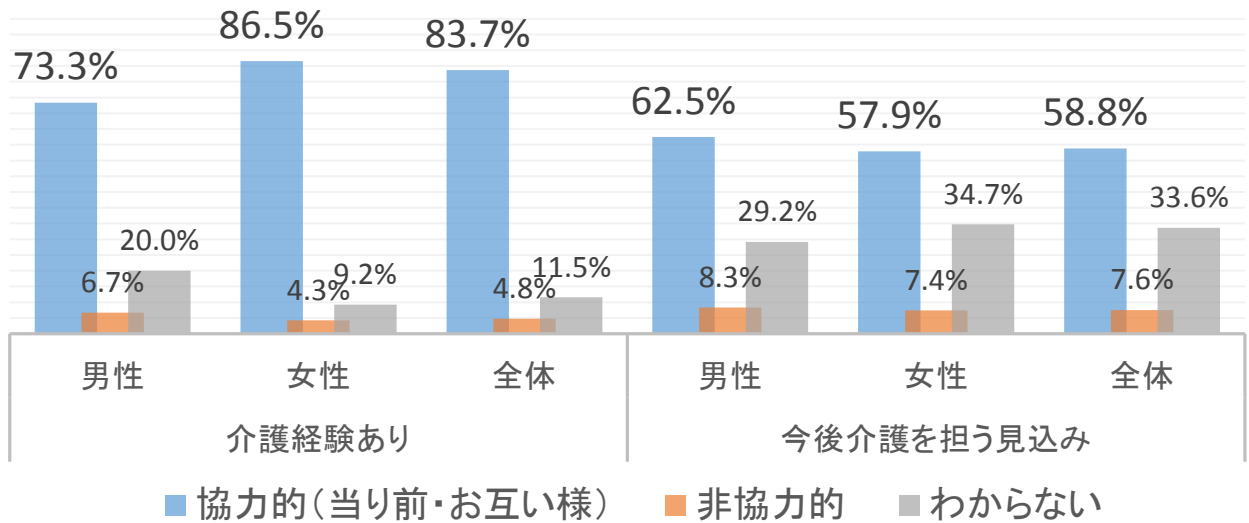
職場への報告に関する性別対比



男性は女性に比べ、職場への報告割合が約13ポイント低い。

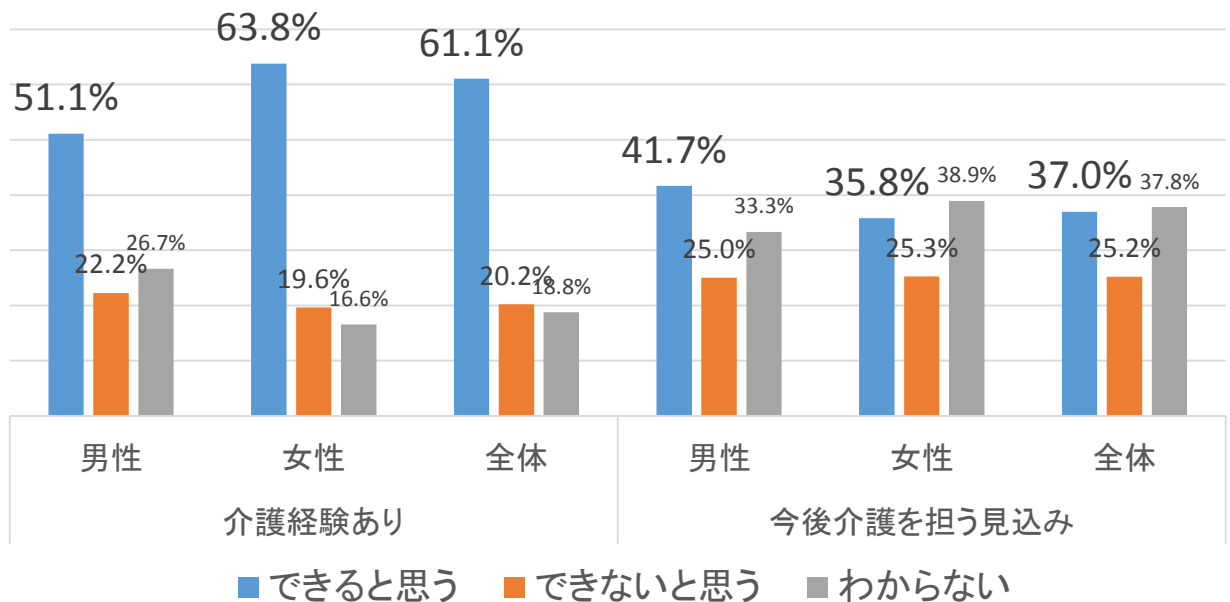
【職場の雰囲気と両立についての意識】

介護を理由に休んだり、 遅刻・欠勤をする人がいた場合の職場の雰囲気は？



介護経験者に比べ介護予備群の方が、職場の雰囲気が協力的と感じる割合が男女共に低率である。

現在の職場では 介護と仕事の両立ができますか？

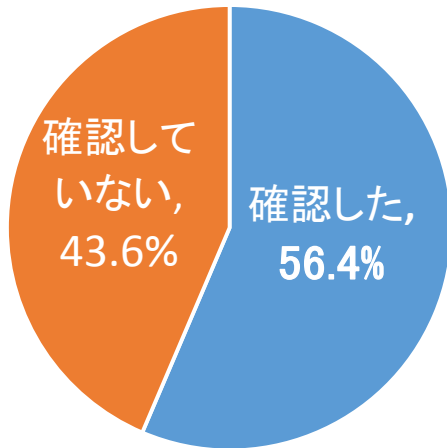


介護経験者に比べ介護予備群の方が、両立ができないと感じている割合が男女共に高い。

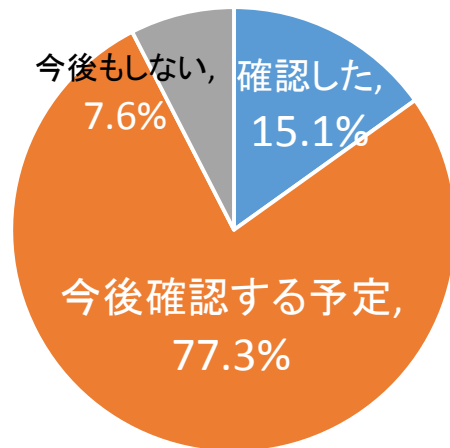
【家庭内での意思疎通①】

介護について事前に親の意向を確認しましたか？

<介護経験あり>



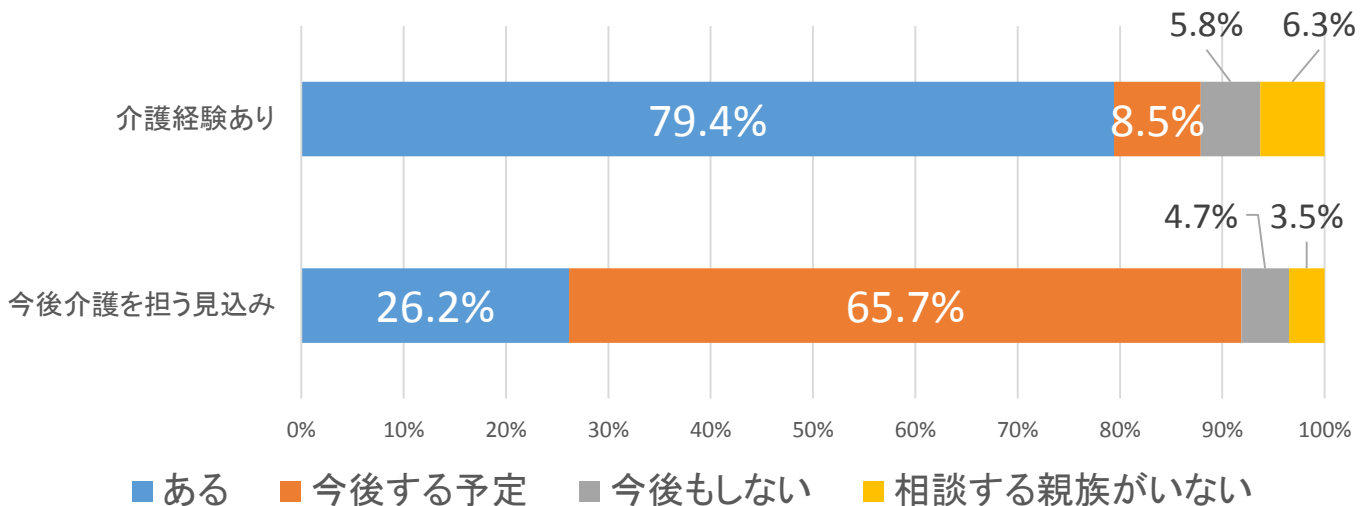
<今後介護を担う見込み>



今後介護を担う見込み者の「確認した」と「今後確認する予定」の計92.4%に対して、介護経験者は56%しか親の意向(望み・考え)を確認していない。親の意向を確認する前に突然の介護に陥った家族が一定数いることが想定される。

介護について

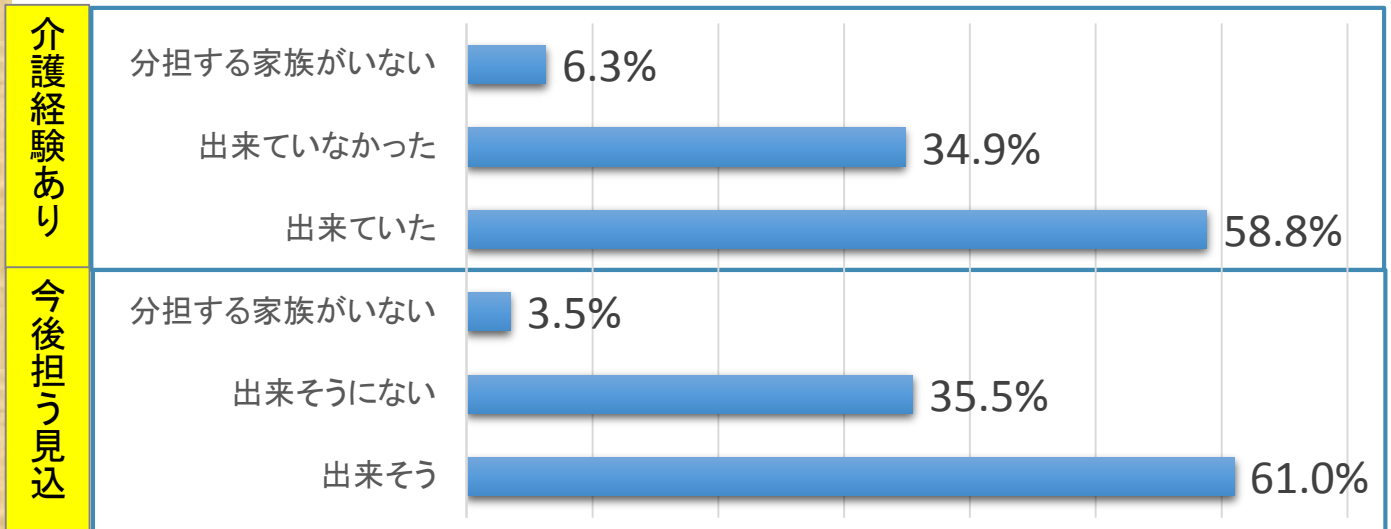
兄弟や家庭で話し合ったことはありますか？



兄弟や家庭内での話し合いが高い割合で行われている一方で、相談する兄弟や家族がない人達が一定数(3~6%)存在している。

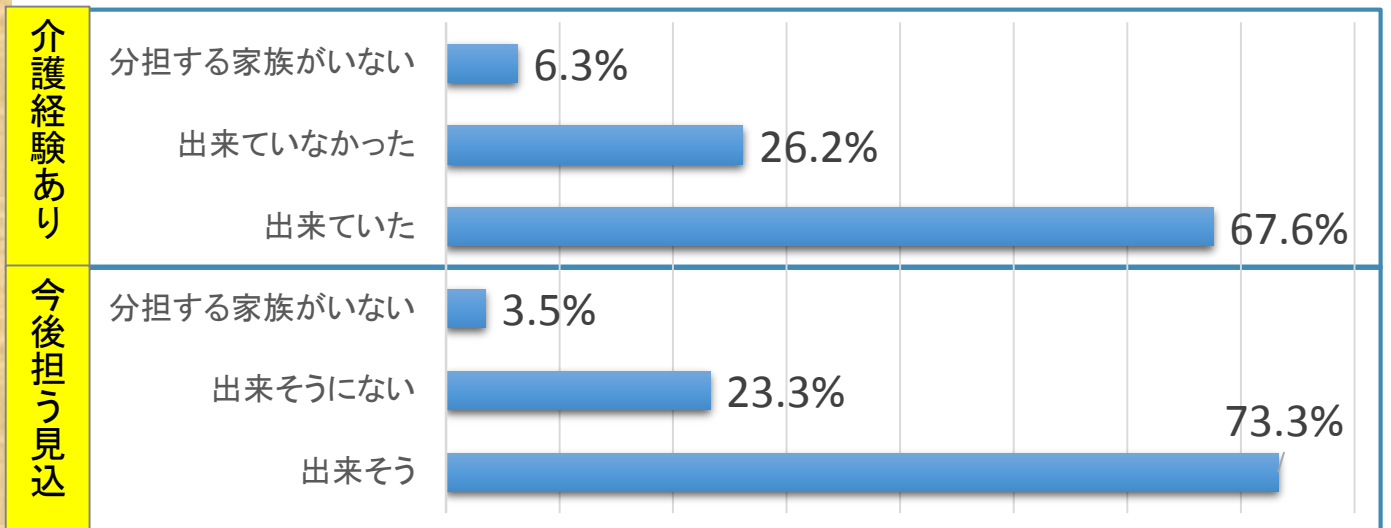
【家庭内での意思疎通②】

介護について兄弟や家庭の中での 役割分担は出来ていましたか？



介護経験者、今後担う見込み者共に、役割分担が出来ない(出来そうにない)が35%前後と高い割合となっている。

介護費用について兄弟や家庭内での 合意は出来ていましたか？



介護経験者、今後担う見込み者共に、介護費用についての合意が出来ない(出来そうにない)が25%前後と高い割合となっている。